

# デザインコンセプト検討ワークショップ 開催報告瓦版

# デザイン・コンセプト案のとりまとめ

※一部抜粋

## 1 班

コンセプトタイトル 「残す」・「変わり続ける」・「遊ぶ」 花巻

コンセプトのテーマ

### 残すこと

- ・花巻の魅力として「住んでいて落ち着く・住みやすい」というものがあり、これから花巻に住みたいと思う人を増やすためにも、花巻の良さを感じるような駅舎としたい。
- ・花巻の良さや素晴らしさとして、「宮沢賢治」や「自然豊かさ」や「名物や特産品」などがあり、その要素を駅舎のいたるところに散りばめることができると良い。また、そのことを、後世に残して大切にしていきたいような駅舎としたい。

### 変わり続けること

- ・駅舎は完成したら終わりではなく、色々な方が関わりながら、変化をしていくような場とすることが良い。そうしないと駅舎を利用するだけの場になってしまう。
- ・コミュニティの場（交流の場）、地域の人が自然を集めるような場としたい。

### 遊ぶこと

- ・光の演出などの工夫をし、遊び心があるデザインとしたい。
- ・ワクワクする新しい発見や出会い、新しい使い方ができるようなものとする。

「宮沢賢治の世界を取り入れること」と  
「スタイリッシュな空間づくり」の  
両方のデザインを取り入れる

外にあるものが中に、  
中にあるものが外に  
設置してあれば  
それだけで異空間になる！



みんなでサポートする  
住民の組織づくり

参加した高校生と一緒に  
商品開発やイベントを！



## デザイン・コンセプト案のとりまとめ を話し合いました！

花巻市では、JR 花巻駅の橋上化及び東西自由通路の整備について、市民の皆さんとともに、駅舎や自由通路の外観や内観に関する「花巻らしい」デザインコンセプトを検討するため、ワークショップを開催しました。

第3回目の今回は、19人に参加いただき、第1回目から話し合ってきたデザイン・コンセプト案のとりまとめをするべくグループごとに話し合いました。

### 第3回ワークショップの内容



最初に、第2回目の内容を振り返り、今回のワークショップの進め方を説明しました。

4つのグループに分かれ、これまで話し合ってきたデザイン・コンセプト案について、自由に話し合いを行いました。



話し合った内容について、各グループから発表し、各人からこれまでの感想等をいただきながら全体で意見を共有しました。



第2回のお話し合い結果振り返り

<b>レトロな街並み</b> 温泉や商店街の看板 天井を夜空に 石巻の稲を模する 駅舎の可愛さ 空を飛ぶ 空車 木材とスタンダ ラスで繋がる世界 と表現 船場メーブル ベンチ 駅近くや東西自由通路で マルシェ開催 <b>文化・伝統芸術</b> 産物やキャラクター化 産物やキャラクター化 観光客の産物やキャラクターの 発想が面白い 改札から出る一歩中心部の地図 ホームに向かう一歩の地図	<b>スタイリッシュ</b> シンボリックな色 銀河 自由通路に花巻 物語を表現 屋内に木、陶灯 水は溢れたい シルエットで表現 橋上の空は子どもが電車 を見られるように レンガ 駅利用する人の 目線 スタンダードな東西自由通路にもベンチ 滞在時間の楽しみ 外壁にプロジェクト ジョイントマッピング 白壁と木材の壁 木で花巻のイメージ の表現 照明で陰影を楽しむ 外壁2階部分は視覚 で楽しめるデザイン 軽便鉄道
---	---

ワークショップの開催日程

第1回	令和5年1月29日(日) 10:00~12:00 生涯学習都市会館3階中ホール 検討内容:花巻らしさとは? 花巻らしい景観要素?
第2回	令和5年2月19日(日) 10:00~12:00 定住交流センター1階 COMZ ホール 検討内容:花巻駅及び駅周辺に創り出したい景観 テーマ・ストーリー・世界観!
第3回	令和5年3月19日(日) 10:00~12:00 定住交流センター1階 COMZ ホール 検討内容:コンセプト案のとりまとめ

# デザイン・コンセプト案のとりまとめ②

※一部抜粋

## 2 班

コンセプトタイトル

### This is 花巻

コンセプトのテーマ

#### 花巻の要素がふんだんにある場所

- ・花巻と言ったらここ。という地域展示場としての機能をもたせた、皆さんに愛される場。
- ・花巻だけではなく、大迫、石鳥谷、東和の4地域がすべてが表現されている場。
- ・これらを総じて、花巻の缶詰という表現で表した。

#### 季節感豊かな場

- ・おひなさま
- ・夏は、かわいい花が咲く
- ・クリスマスは、イルミネーションがきれいな場という、季節を感じられて、観光客の方も「わあ」ってなるような場



#### 交流人口の拡大に資する施設にしたい

- ・国内外から来て楽しめるように、また、駅が目的地になるような場所にする。

外観の壁には、  
木材や花巻の花を！

内装には、花巻・  
大迫・石鳥谷・東和の特産をあしらう

## 3 班

コンセプトタイトル

### 「Feel 花巻」 ～花巻まるごと詰め込んだ感じる花巻もりだくさん～

コンセプトのテーマ

「花巻をまるごと感じられる、昼も夜も明るい駅」を演出する為、花と鹿踊りをモチーフに素材には木材を多用して花巻らしさを感じさせます。また、窓によって自然光をうまく使い明るく温かみのある駅を実現します。

明るい  
花巻をまるごと  
鹿踊り（親しみやすく  
キャラ化）

- ①外観はシンプルで1色の壁とし、プロジェクションマッピングが出来るよう凹凸を少なく。
- ②東側の階段部分にはスタンドガラスの窓を設置し、駅舎外側にはこれまで使っていた時計を設置し、駅舎中には機能的な時計。
- ③自由通路などには大きな窓を設置し、朝日や夕日、景色が見え、子供達が電車を見れるようにします。天窗や電車を見られるように。
- ④スタンドガラスや壁、ファンチャーの模様には花や鹿踊りの衣装のモチーフを多用し、花巻を感じられるよう。
- ⑤駅舎の中は木材を多用し、温かさを重視。



## 4 班

コンセプトタイトル

### あの頃の自分にもう一度出会える花巻

コンセプトのテーマ

#### 暮らしてきた場所や世代を超えて「あの頃」をふと思い出す場所

- ・駅は旅のスタートとゴールである。通学、通勤、出張、旅行はもとより、進学や就職による引越し、単身赴任、久々の再開など、出会いや別れの場となる。そんな多くの人々が持つ「あの頃」を、花巻で生まれ育った人に限らず、市外、県外の人も思い出す場にする。
- ・「宮沢賢治」や「レトロ感」が、日本人であれば誰しものが持つであろう「あの頃」の記憶を想起させる。
- ・「宮沢賢治」作品は多くの人々が幼少期に触れてきたはずである。
- ・「レトロ感」が大正～昭和の時代を想起させる。花巻市街の雰囲気とも合っており、まちと駅舎がスムーズに接続される。

#### これからの「あの頃」を作り出していく場所

- ・「あの頃」を思い出してもらおうと共に、これからこの駅舎で「あの頃」を作り出していく。そのためにも、駅舎を「日常的な利用」ができる場にする。

「あの頃」を表現するための  
「宮沢賢治」「レトロ」

「あの頃」を作り出すために  
「日常的な利用」を促進

花を通じた地域との交流

マルシェの開催でリアルな交流



#### 参加者の声

参加者から寄せられたアンケート結果や感想など

ワークショップ終了後、参加者のみなさんをお願いしたアンケートへ、今回のワークショップについてお気づきのこと等をお寄せいただきました。

今回のワークショップについては、「このような機会を頂きありがとうございます。意見が反映された駅が出来てことを楽しみにしています。」「いろいろな世代の方と話せて、花巻についてより考えれた

し考えが深まったからこそこれから行動にうつして花巻の良さを伝えていきたい。」「幅広い世代、異なる学校、職種などが集まり意見交換でき有意義でした。また、各班にスタッフの方がおり促していただき全員が意見を述べる事ができ良かったです。」「3回参加して、皆様の話も色々あり、ありがたいです。」等の感想をいただきました。